

# 第三者評価結果

社会福祉法人 ポプラ会

旦の原保育園

特定非営利活動法人

大分福祉サービス評価機構

## 福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 大分福祉サービス評価機構

②第三者評価実施日

平成 23年 9月 6日

③事業者情報

名称： 且の原保育園	種別： 保育所
代表者氏名： 三田井 精子	定員（利用者数）： 110名
所在地： 大分市高江北2丁目8番1	Tel 097-554-3386

総評

◇ 特に評価の高い点

1).福祉サービスの基本方針と組織について

- ・法人の理念および保育所としての理念を練り上げる中から、「芽はゆっくり、根はしっかり」という保育方針が導き出され、保護者にもしっかり伝わっていることが注目に値します。

2).組織の運営管理について

- ・今後保育所が目指す目標と保育の質について、組織的に吟味され方向性を定めていることがよく分かります。
- ・実習生について幅広く受入れ、次世代の若者の育成という観点から積極的に取り組んでいる点は特筆すべきところです。
- ・子育てに関する相談や保護者交流行事の実施・卒園生との継続的なつながりの機会の設定など、地域の拠点施設としての機能をしっかり発揮しています。

3).適切な福祉サービスの実施について

- ・サービスの質を確保するために、第三者評価や各種学会等のガイドラインなどを前向きに活用していることは注目すべき点です。

4).上記以外について

- ・保育所としての食育の考え方と取組みが保護者にも浸透しており、家庭での生活にも好影響を与えている点が高く評価できます。
- ・保護者を孤立させないように、児童や保護者の個別性に配慮した各種の取組みと対応は特筆すべき点です。

◇ 改善を求められる点

1). 福祉サービスの基本方針と組織・組織の運営管理について

- ・今後の児童福祉の動向に基づいた事業展開の目標と保育現場で求められる諸課題について、管理者と現場スタッフが今以上に共通認識を持ち、前向きに取り組んでいかれることを期待します。

\*細かい点については各項目ごとの評価の詳細およびメモのとおり。

⑤ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回で3年毎3回目の受審となりましたが、この度の評価結果のひとつとして当園の保育方針が保護者の方々に浸透し、ご理解を得ていることが判明しましたことは有難いことであります。

然しながら、個別事項について感じますことは、まだまだ職員全員の努力が必要であり、各課題を更に掘り下げて検討し、実践してゆかねばならないと感じております。

昨今、保育活動を取り巻く環境は、これまでの思考の延長線では解決できないとの前提に立ち、新たな保育制度が始まると聞き及びます。従いまして今回のような評価作業も新たな立場から受審してゆくことが求められると考えます。

これからも、子どもの成長を中心に置き保護者の方々と手携えながら、よりよい保育活動を推進してゆけるよう努めてまいりたいと考えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

## 《評価細目の第三者評価結果》

すべての評価細目について、判断基準に基づいた評価結果を表示する。

(a・b・c)の3段階評価です。

### 福祉サービス第三者評価基準（保育所版）

#### I 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。

I-1-(1)-① 理念が明文化されている。

**【調査結果】**

- ① 法人・保育所の理念、保育理念を明文化しており、法人と保育所の使命・役割を反映している。
- ② 法人・保育所の理念、保育理念を明文化しているが、法人と保育所の使命・役割の反映が十分ではない。
- ③ 法人・保育所の理念、保育理念を明文化していない。

I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。

**【調査結果】**

- ① 法人・保育所の理念に基づく基本方針を明文化しており、その内容が適切である。
- ② 法人・保育所の理念に基づく基本方針を明文化しているが、その内容が十分ではない。
- ③ 法人・保育所の理念に基づく基本方針を明文化していない。

I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。

I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。

**【調査結果】**

- ① 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を職員に配付するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。
- ② 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を職員に配付しているが、理解を促すための取組が十分ではない。
- ③ 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を職員に配付していない。

I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。

**【調査結果】**

- ① 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配付するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。
- ② 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配付

しているが、理解を促すための取組が十分ではない。

c) 法人・保育所の理念、保育理念や基本方針を保護者や地域の住民、関係機関等に配付していない。

#### [I-1 理念・基本方針に関する評価の詳細]

- ・法人の基本理念にはじまり保育所としての理念から、「芽はゆっくり、根はしっかり」という保育方針が導き出されていることが、議事録や事業計画・保育のしおり等のパンフレットを通じて分かります。
- ・職員会議や研修会等を通じて、これらの理念や方針を浸透させていこうとする強い姿勢が諸記録からも伺えます。今後は保育現場において、スタッフがどれくらい理解して取組めているのかを検証することが期待されます。
- ・入園時の説明資料やパンフレット・行事等を通じて保育方針を保護者に積極的に伝えていることが、今回の利用者アンケートからもよく分かります。

### I-2 計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。

I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。

#### 【調査結果】

- ① 経営や保育サービスに関する、中・長期計画を策定している。
- b) --
- c) 経営や保育サービスに関する、中・長期計画を策定していない。

I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。

#### 【調査結果】

- ① 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。
- b) --
- c) 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映していない。

I-2-(2) 計画が適切に策定されている。

I-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。

#### 【調査結果】

- ① 中・長期計画や事業計画が、職員等の参画する会議などの場で策定されている。
- b) 中・長期計画や事業計画が、職員等の参画のもとで策定されているが、会議などの場は設けられていない。
- c) 中・長期計画や事業計画が、職員等の参画のもとで策定されていない。

I-2-(2)-② 計画が職員に周知されている。

#### 【調査結果】

- ① 事業計画を職員に配付するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。
- b) 事業計画を職員に配布しているが、理解を促すための取組が十分ではない。
- c) 事業計画を職員に配布していない。

I-2-(2)-③ 計画が利用者等に周知されている。

【調査結果】

- ㉑) 事業計画を利用者等に配付するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。
- b) 事業計画を利用者等に配布しているが、理解を促すための取組が十分ではない。
- c) 事業計画を利用者等に配布していない。

[ I-2 計画の策定に関する評価の詳細 ]

- ・児童福祉政策の動向に基づき中長期計画を策定し、理事会および現場レベルで今後に向けた検討が行なわれていることが各種記録から分かります。
- ・年度ごとの事業計画についても、動向を踏まえたものになっており職員会議等を通じて理解を促すための取組が行なわれています。保育現場においてどう活かされているかを検証していくことを期待します。
- ・利用者アンケートから、保護者に事業計画を説明していることがよく分かります。保育料金等の説明については、制度の理解が難しい保護者の立場にたったより丁寧な説明が望まれます。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。

I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。

【調査結果】

- ㉑) 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。
- b) 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう取り組んでいるが、十分ではない。
- c) 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしていない。

I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。

【調査結果】

- ㉑) 管理者自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取組を行っている。
- b) 管理者自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っているが、十分ではない。
- c) 管理者自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組は行っていない。

I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。

【調査結果】

- ㉑) 管理者は、保育サービスの質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。
- b) 管理者は、保育サービスの質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。

c) 管理者は、保育サービスの質の向上に関する組織の取組について指導力を発揮していない。

I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。

【調査結果】

- a) 管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。
- b) 管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。
- c) 管理者は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組について指導力を発揮していない

[I-3 管理者の責任とリーダーシップに関する評価の詳細]

- ・今後の保育制度改正に向けて管理者は、積極的に各種情報を収集するとともに経営的観点から課題分析に取り組んでいることが分かります。今後これらの課題に対して現場スタッフと一丸となった取組みに大いに期待します。

## II 組織の運営管理

### II-1 経営状況の把握

II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。

【調査結果】

- a) 事業経営をとりまく環境を的確に把握するための取組を積極的に行っている。
- b) 事業経営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っているが、十分ではない
- c) 事業経営をとりまく環境を把握するための取組を行っていない。

II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。

【調査結果】

- a) 経営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。
- b) 経営状況を分析して課題を発見する取組を行っているが、改善に向けた取組を行っていない。
- c) 経営状況を分析して課題を発見する取組を行っていない。

II-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。

【調査結果】

- a) 外部監査を実施しており、その結果に基づいた経営改善を実施している。
- b) 外部監査を実施しているが、その結果に基づいた経営改善が十分ではない。
- c) 外部監査を実施していない。

[II-1 経営状況の把握に関する評価の詳細]

- ・法人としてまた1事業所としての経営分析と課題の抽出が、組織的に行なわれていることが各種資料から分かります。

### II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。

II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。

【調査結果】

- a) 目標とする保育サービスの質を確保するための、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。
- ① b) 目標とする保育サービスの質を確保するための、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しているが、それに基づいた人事管理が十分ではない。
- c) 目標とする保育サービスの質を確保するための、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立していない。

II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。

【調査結果】

- ② a) 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課を実施している。
- b) 定期的な人事考課を実施しているが、客観的な基準に基づいて行われていない。
- c) 定期的な人事考課を実施していない。

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。

【調査結果】

- ① a) 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。
- b) 職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みの構築が十分ではない。
- c) 職員の就業状況や意向を把握する仕組みがない。

II-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。

【調査結果】

- a) 福利厚生センターへの加入等、総合的な福利厚生事業を実施している。
- ② b) 福利厚生事業を実施しているが、十分ではない。
- c) 福利厚生事業を実施していない。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。

【調査結果】

- ① a) 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。
- b) 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されているが、十分ではない。
- c) 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されていない。

II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。

【調査結果】

- ② a) 職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され、計画に基づ



いた具体的な取組が行われている。

- b) 職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されているが、計画に基づいた具体的な取組が十分に行われていない。
- c) 職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されていない。

#### II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。

##### 【調査結果】

- ④) 研修成果の評価が定期的に行われるとともに、次の研修計画に反映されている。
- b) 研修成果の評価が定期的に行われているが、次の研修計画に反映されていない。
- c) 研修成果の評価が定期的に行われていない。

#### II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。

##### II-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。

##### 【調査結果】

- ④) 実習生を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。
- b) 実習生を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解されているが、実習担当者が決められていない。
- c) 実習生を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解されていない。

##### II-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。

##### 【調査結果】

- ④) 実習生受入れの際には、実習の効果をあげるプログラムを用意する等、育成に取り組んでいる。
- b) 実習生受入れの際には、実習の効果をあげるプログラムを用意する等、育成に取り組んでいるが、十分ではない。
- c) 実習生受入れの際、実習の効果をあげるプログラムを用意する等の取り組みを行っていない。

#### [II-2 人材の確保・養成に関する評価の詳細]

- ・今後保育所として目指そうとする目標と保育の質については、組織的に吟味されていることがよく分かります。一方で現場スタッフが保育所にとって必要とされる人材として育てていくための今後の取組みに期待します。
- ・実習生の受け入れについて、中学生や高校生・特別支援学校の生徒・大学生・適応指導教室の通級生等を幅広く受け入れ、実習生それぞれにあった対応により高い効果をあげていることが実習記録などからも分かります。

### II-3 安全管理

#### II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。

##### II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。

【調査結果】

- ①) 子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し機能している。
- ②) 子どもの安全確保のために、組織として体制を整備しているが、十分に機能していない。
- ③) 子どもの安全確保のために、組織として体制を整備していない。

II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。

【調査結果】

- ①) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い実行している。
- ②) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要因分析と対応策の検討が十分ではない。
- ③) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。

II-3-(1)-③ 災害等の発生時における防災体制が整備されている。

【調査結果】

- ①) 子どもの安全確保のための地域における連携のとれた防災体制が整っており、定期的な避難訓練等を実施している。
- ②) 子どもの安全確保のための地域における連携のとれた防災体制が整っているが、定期的な避難訓練等を実施していない。
- ③) 子どもの安全確保のための地域における連携のとれた防災体制が整っていない。

[II-3 安全管理に関する評価の詳細]

- ・ 児童の安全確保について細やかな配慮が伺えます。遊具の安全基準に基づく園内遊具の点検や、幼児向けの防災教育ビデオの作成などは注目に値する点です。
- ・ 災害時を想定した備品（簡易トイレ・テント・非常食）も備えられており、高齢化が進んだ近隣の避難拠点としての役割を担おうと取り組んでいることが分かります。

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

II-4-(1)-① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。

【調査結果】

- ①) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っている。
- ②) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っているが、十分ではない。
- ③) 子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っていない。

II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。

【調査結果】

- ①) 保育所が有する機能を、地域に開放・提供する取組を行っている。
- ②) 保育所が有する機能を、地域に開放・提供する取組を行っているが、十分ではない。
- ③) 保育所が有する機能を、地域に開放・提供する取組を行っていない。

II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

【調査結果】

- ① a) ボランティアを受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、受入れの担当者も決められている。
- b) ボランティアを受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受入れの担当者が決められていない。
- c) ボランティアを受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解されていない。

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。

【調査結果】

- ① a) 保育所の役割や機能を達成するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報が職員間で共有されている。
- b) 保育所の役割や機能を達成するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示しているが、その情報が職員間で共有されていない。
- c) 保育所の役割や機能を達成するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示していない。

II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。

【調査結果】

- ② a) 関係機関・団体と定期的な連携の機会を確保し、具体的な課題や事例検討を行っている。
- b) 関係機関・団体と定期的な連携の機会を確保しているが、具体的な課題や事例検討は行っていない。
- c) 関係機関・団体と定期的な連携の機会を確保していない。

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。

II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。

【調査結果】

- ① a) 地域の具体的な福祉・子育てニーズを把握するための取組を行っている。
- b) 地域の具体的な福祉・子育てニーズを把握するための取組を行っているが、十分ではない。
- c) 地域の具体的な福祉・子育てニーズを把握するための取組を行っていない。

II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。

【調査結果】

- ② a) 把握した福祉・子育てニーズに基づいた事業・活動が実施されている。
- b) 把握した福祉・子育てニーズに基づいた事業・活動の計画があるが、実施されていない。
- c) 把握した福祉・子育てニーズに基づいた、事業・活動の計画がない。

#### [Ⅱ-4 地域との交流と連携]

- ・子育てサークルや育児相談・夏祭り等の行事での交流・卒園生の同窓会の受入れなど地域住民との幅広い交流と施設機能の開放が継続的な形で行なわれていることは、特筆すべき点です。
- ・事例検討会等を通じ児童相談所や近隣大学等を社会資源として活用しています。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

##### Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。

###### 【調査結果】

- ① a) 一人ひとりの子どもを尊重した保育について基本姿勢が明示され、組織内で共通の理解を持つための取組が行われている。
- b) 一人ひとりの子どもを尊重した保育について基本姿勢が明示されているが、組織内で共通の理解を持つための取組は行っていない。
- c) 一人ひとりの子どもを尊重した保育について基本姿勢が明示されていない。

##### Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。

###### 【調査結果】

- ② a) 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。
- b) 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備しているが、職員に周知する取組が十分ではない。
- c) 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備していない。

##### Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。

##### Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。

###### 【調査結果】

- ① a) 保護者の意向に配慮する姿勢が明示され、意向を把握する具体的な仕組みを整備している。
- b) 保護者の意向に配慮する姿勢が明示されているが、意向を把握する具体的な仕組みが十分ではない。
- c) 保護者の意向に配慮する姿勢が明示されていない。

##### Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。

###### 【調査結果】

- ② a) 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備され、実際にその向上に向けた取組を行っている。
- b) 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されているが、その向上に向けた取組が十分ではない。

c) 把握した保護者の意向の結果を活用するための仕組みが整備されていない。

III-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

III-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。

【調査結果】

- ① a) 保護者が相談したり意見を述べたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境が整備され、そのことを利用者に伝えるための取組が行われている。
- b) 保護者が相談したり意見を述べたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境が整備されているが、そのことを利用者に伝えるための取組が十分ではない。
- c) 保護者が相談したり意見を述べたい時に、相談方法や相談相手を選択できる環境が整備されていない。

III-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。

【調査結果】

- ① a) 苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているとともに、苦情解決の仕組みが機能している。
- b) 苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているが、十分に機能していない。
- c) 苦情解決の仕組みが確立していない。

III-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。

【調査結果】

- ① a) 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。
- b) 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備しているが、迅速に対応していない。
- c) 保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備していない。

[III-1 利用者本位の福祉サービスに関する評価の詳細]

- ・子どもと保護者のプライバシー保護に配慮しつつ保護者の孤立防止のため了解を得たうえで必要な情報を回覧するなど、きめ細かい対応が行なわれています。
- ・利用者満足度の向上のために、保護者懇談会や評価でのアンケートにより意見や要望をすいあげ、園だより等で開示するなど前向きな取組が行なわれています。今回の利用者アンケートで出された要望や意見への丁寧な対応を期待します。

## III-2 サービスの質の確保

III-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。

III-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。

【調査結果】

- ① a) 保育サービスについて、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制が整備され機能している。
- b) 保育サービスについて、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制が整備さ

れているが、十分に機能していない。

- c) 保育サービスについて、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制が整備されていない。

Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。

【調査結果】

- ①) 実施した評価の結果を分析し、組織として取り組むべき課題を明確にしている。  
b) 実施した評価の結果を分析し、組織として取り組むべき課題を明確にしているが、十分ではない。  
c) 実施した評価の結果を分析し、組織として取り組むべき課題を明確にしていない。

Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。

【調査結果】

- ①) 評価結果から明確になった課題について、改善策や改善計画を立て実施している。  
b) 評価結果から明確になった課題について、改善策や改善計画を立て実施しているが、十分ではない。  
c) 評価結果から明確になった課題について、改善策や改善計画を立て実施していない。

Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。

Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。

【調査結果】

- ①) 個々の保育場面について、標準的な実施方法が文書化され、それに基づいたサービスが実施されている。  
b) 個々の保育場面について、標準的な実施方法が文書化されているが、それに基づいたサービスの実施が十分ではない。  
c) 個々の保育場面について、標準的な実施方法が文書化されていない。

Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。

【調査結果】

- ①) 標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを行っている。  
b) 標準的な実施方法について定期的に検証しているが、必要な見直しを行っていない。  
c) 標準的な実施方法について定期的な検証をしていない。

Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。

Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。

【調査結果】

- ①) 一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。  
b) 一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録はあるが、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されていない。  
c) 一人ひとりの子どもの記録がない。